

若者たちの居場所となりたい

徳とく泉せん寺じ報ほう

No. 8 5

発行

令和6年11月

発行元 徳泉寺

仙台市宮城野区

榴岡3-10-3

(022)297-4248

[tokusenji.send](http://tokusenji.sendai@gmail.com)

ai@gmail.com



ホームページ

[tokusenji-](http://tokusenji-sendai.com)

[sendai.com](http://tokusenji-sendai.com)



Instagram

[tokusenji.sendai](https://www.instagram.com/tokusenji.sendai)



TOKUSENJI.SENDAI

むすびめ倶楽部を紹介します



徳泉寺ではこの春から、月に一度、中学生以上の若い方たちと一緒に過ごす会を開催しています。その名も「むすびめ倶楽部」。以前に活動していた中高生支援サークル「むすびめ」さんから名前を引き継いだ形になっています。

きっかけは木曜日に開放している寺子屋文庫での会話から。そこに来ていた高校生と今春自坊に戻った娘と、そして坊守とで「何かしたいね。」

「でも、みんな部活とか習い事とかで忙しくてなかなか集まらないよね。」

「土日？」

「土曜日は夜まで仕事だからムリだなあ。」

「日曜日は学校があります。」

「うーん。何かできないかな。」

「夜は？みんな忙しくてもご飯は食べるよね？日曜日の夜」
「はんをみんなで作って食べるっていうのはどう？」

「確かに。高校生とかなら大学に行って一人暮らしするかもしれないから料理とかできたらいいかも。」

「逆に一人暮らしの大学生が月に一度くらいみんなとご飯作って食べたなら楽しそう。」

「ちよっと友達に声かけてみます。」

と、とても簡単に始まったこの企画。やってみたらすごくいいのです。月に一回、第四日曜日の夜、下は中学1年生から大学院生まで約十五人ほど。毎月違うメニューに挑戦することにして材料は持ち寄りになっています。みんなでわいわいお料理をしていたり、火の囲んで恋バナしたりゲームをしたり。模試の自己採点をしたり人生について語ってみたり。時には保護者の方も混ざって同じものを食べてゆったりとした時間を過ごす。なんと豊かな時間なんだ、と実感しています。最近ではそこから派生して釣りや手芸や読書のサークル的な集まりも自然発生的にできています。

「昨日、居場所づくりということが盛んに言われています。徳泉寺でもいろいろ立場の方が気軽に集まれることを願ってイベントや企画を行ったりします。その中で感じていたことのひとつに「単発ではなくて継続的な活動を」ということがありました。また、子育てを経験する中で「子どもはみんなで育てるもの」という思いもありました。特に今の若い人たちは幼いころ東日本大震災にあい、その後コロナを経験し二重の大きな傷を追っています。そのことが直接ではないにしても繊細な青少年に大きな影響を与えているなあと感じる場面が多くあります。私たちにできることは些細なことですが、一人でも「ここに居ることが楽しい」と思えるような、安心して集える場を提供しつづけていけたらいいなあと考えています。(参加希望者は徳泉寺までご連絡ください)

